

放送大学文京学習センター 面接授業

日本雅楽—輸入舞楽の諸相—

担当教員：三田 徳明

- | | |
|----------------------------------|----------------|
| ① 2016年05月21日(土)第3時限 14:10～15:35 | 第1回 雅楽とは何か |
| ② 2016年05月21日(土)第4時限 15:50～17:15 | 第2回 雅楽の楽器について |
| ③ 2016年06月04日(土)第3時限 14:10～15:35 | 第3回 左舞「唐楽」の諸相 |
| ④ 2016年06月04日(土)第4時限 15:50～17:15 | 第4回 舞楽実技体験「左舞」 |
| ⑤ 2016年06月18日(土)第3時限 14:10～15:35 | 第5回 右舞「高麗楽」の諸相 |
| ⑥ 2016年06月18日(土)第4時限 15:50～17:15 | 第6回 舞楽実技体験「右舞」 |
| ⑦ 2016年07月02日(土)第3時限 14:10～15:35 | 第7回 舞楽の装束について |
| ⑧ 2016年07月02日(土)第4時限 15:50～17:15 | 第8回 舞楽を観る |

【授業内容】

日本文化の象徴のように思われる「雅楽」。しかしその起源は古代アジア諸国にまで遡ることができるものであり、多くの曲が舞を伴った「舞楽」の形で輸入されました。本講義では雅楽概説に続き、輸入舞楽に焦点をあて、諸国の舞踊と比較を交えつつ、現行の雅楽では「左舞」「右舞」に分類される唐楽・高麗楽の特徴を焙り出します。また舞の実動作体験を通じてその伝承方法を学び、今日の舞楽が往時の原型をとどめ得た秘密に迫ります。

【学生へのメッセージ】

本講義受講に当たっては音楽やダンスなどに関する特別な知識や経験は一切必要ありません。古代アジア=シルクロード音楽・舞踊芸術の集大成である「日本雅楽」の観方・楽しみ方をこの講義で学ばれ、日本文化の再発見の契機としていただければ幸いです。

【受講者が当日用意するもの】

筆記具。「実技」の日は運動しやすい服装と運動用靴下(足袋である必要はない)

【教科書】授業当日にプリントを配付します。

定員 43名

参考書 雅楽がわかる本(安倍季昌/たちばな出版/¥3,024/ISBN=9784886926289)

◆どなたでも聴講できます

共修生(聴講生)の申し込みは5月15日以降

センター窓口で直接お申し込みください。

受講料：1科目につき5,500円(8回分)

問合せ：放送大学文京学習センター

東京都文京区大塚3-29-1

丸ノ内線「茗荷谷駅」近く

お茶の水女子大学斜向かい

電話番号 03-5395-8688